

製品名: OTX1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15540**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.61% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	OTX1
別名	Homeobox protein OTX1 (Orthodenticle homolog 1)
遺伝子 ID	5013.0
SwissProt ID	P32242
免疫原	ヒト OTX1 由来の合成ペプチド AA 範囲: 236-286

背景

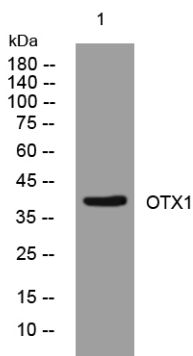
この遺伝子は、ホメオドメイン含有転写因子の bicoid サブファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は転写因子として作用し、脳および感覚器官の発達に関与している可能性があります。マウスでは、同様のタンパク質が脳

および感覚器官の適切な発達に必要であり、てんかんを引き起こす可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2015年1月]、発達段階: 胚、機能: 脳および感覚器官の発達に関与していると考えられます。BCD 標的配列 (BTS) 5'-TCTAATCCC-3'に結合できます。、類似性: ペアドホメオボックスファミリーに属します。bicoid サブファミリー。、類似性: 1つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含みます。、組織特異性: 脳で発現します。、

研究分野

神経科学

画像データ



HCT116 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、OTX1 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩